



西郷中学校学校便り 活気  
学びの坂 和気  
根気

令和3年3月発行  
文責：校長 川越政紀

## 西郷中学校最後となる第50回卒業式挙行 !!

3月16日(火)に美郷町立西郷中学校としては最後となる第50回卒業式が行われ、田中秀俊町長など来賓の方々から多くの祝辞をいただく中、6名の卒業生が3年間通った学び舎を巣立っていきました。

### 【田中秀俊町長から祝辞でプレゼントされた言葉】

Live as if you were to die tomorrow Learn as if you were to live forever  
明日死ぬかのように生きよ。 永遠に生きるかのように学べ。 (ガンディー)

### 【荒砂俊之PTA会長から祝辞でプレゼントされた言葉】

壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている。(イチロー)

お二人からの素晴らしいプレゼント!

これからもきっと卒業生の心の支えとなることだと思います。本当にありがとうございました。

また、卒業式では心のこもった「在校生代表による送辞」と「卒業生代表による答辞」が述べられ、会場は感動に包まれました。

### 【在校生代表 送辞】 2年 小田 夢空 さん

ー前略ー

後輩である私たちにもいつも分け隔てなく接してくれた歩夢先輩!

思いやりがあり、みんなを笑顔にしてくれるムードメーカーの颯先輩!

誰よりも努力しているのに苦勞を見せずいつも笑顔で接してくれた龍希先輩!

リーダーシップがあり常に先頭でみんなを導いてくれた聡太先輩!

みんなが気付かない所に気付き、そっと私たちを支えてくれた和先輩!

常に全体のことを考え、みんなの気持ちを動かすような言葉を語ってくれた光咲姫先輩!

私達の目標であり、よき手本であった先輩方と過ごす時間は今日が最後です。明日からは先輩方の後を受けて、私たちが学校を引っ張っていく存在とならなければなりません。

先輩方の姿を胸に、切磋琢磨し、支え合い、新たな西郷義務教育学校の未来を築く存在となることを、在校生一同ここにお約束します。



【卒業生代表 答辞】 3年 山本 光咲姫 さん

ー前略ー

これまで「思いやり」という言葉を簡単に使っていましたが、それは単に優しい言葉をかけたり、何かをしてあげたりするだけでなく、相手が気遣われていると感じないように気遣うことや、あえて何もしないことが本当に「相手を思いやる」ことになる時があるのだと知りました。

これまで苦しい時でも前を向き、乗り越え成長できたのはこの六人だったからだと思います。そんな六人で過ごしてきた日々も今日で終わりを迎えます。みんなといるとじゃんけんをするだけで盛り上がり、一緒に歌うことも幸せで、どんな時間も楽しく、この六人で過ごせて本当によかったです。これから離ればなれになると思うとさみしいですが、お互い夢に向かって頑張ろうね。今までありがとう。みんなのことが大好きです。

在校生の皆さん、今まで私たちと共に歩んでくれたことに感謝しています。(中略) 私たちをこんなにも楽しませてくれた皆さんなら、素敵な学校を創っていけると思います。(略)

先生方、三年間のご指導本当にありがとうございました。西郷中学校という環境があり、先生方がいてくださったからこそ、私たちは大きく成長できました。(略)

保護者の皆様、いつも側で支えてくれてありがとうございました。(中略) こんなにも楽しい学校生活を送れたのはお母さんたちの支えがあったからです。(略)

美郷町の皆様、これまで私たちを見守っていただきありがとうございました。こんなあたたかい美郷町が私たちは大好きです。

歴史ある西郷中学校の最後の卒業生になれることを誇りに思うと共に、新しく始まる西郷義務教育学校の発展をお祈りいたしまして答辞といたします。



## 卒業生の皆さん！

皆さんのこれからの活躍を西郷中学校全員で応援しています！

